

西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会

2012年3月14日発行 VOL.101 発行者：会長 森田正樹 編集：広報部

——提携20周年記念行事——



いよいよマリーさんたち一行13人が4月17日に来られます。

スケッチ展をはじめ様々な行事が続きますが、国際交流は政治や宗教の異なりを超えた「人と人の心の交流」だと思います、相手を思いやる心でマリーさんたちを迎えたいとおもいます。

(会長：森田正樹)

4月17日から19日は公式行事として西宮市が実施します。市民の会としては、1月号会報記事に応募された方を中心に通訳スタッフなどをお願いします(個別に連絡いたします)。

18日の公式歓迎会は、記念事業実行委員会から参加希望者に参加申込書を送付する予定です。

- 17日 関西国際空港着。午後、北口ギャラリーにてスケッチ展等見学。
- 18日 市長表敬訪問。市内観光(白鹿酒造博物館、紙すき体験、北山植物園、神呪寺)
18時30分～西宮市主催歓迎会(ノボテル)
- 19日 大谷美術館。香櫨園小学校。夙川散策、郷土資料館、図書館等見学。
- 21日から京都、奈良へ自主観光
- 24日 市民の会主催さよならパーティー
- 25日 関西国際空港発11:30 帰国

24日の市民の会主催の「さよならパーティ」はまだ20人程度空きがありますので、参加される方は事務局へ申し込んでください。ただし、お客さんではなくスタッフとしての役割がありますし、LeG 県、アジャン市、マリーさんたちとの交流のプラスの触媒になることを念頭に参加をお願いいたします。

(市長ほかを招待する予定)

- 場所 兵庫栄養調理製菓専門学校
(西宮北口駅 西北)
- 時間 16:00 集合(会場設営、食事準備)
17:30～19:00 パーティー
19:30 撤収作業
- 参加費 料理1品と2千円

4月17日(火)～22日(日)

第15回アジャンスケッチ旅行会展

恒例の作品展を開催します。今回はフランス側の作品も展示する予定です。

今年は西宮市主催の「交流の歩み」パネル展示と合わせて第1、2展示室で開催されます。

提携記念日の17日にはマリーさんたち訪問団も会場に来られます。会員のみなさん、是非お越し下さい。

- 日時 4月17日(火)～22日(日)
10:00～17:00(22日は16:00まで)
- 会場 北口ギャラリー第1、2展示室
(阪急西宮北口駅前アクタ東館6階)
- 出展者 足立洋子 石丸文子 大西浩子
岡田順子 小倉正和 越智強之
川元和江 近藤節子 白井佳子
杉崎嘉子 武居 精 波多圭子
春重祺子 福西千鶴子(以上絵画)
鈴木英夫 森田正樹(以上写真)



Bonjour la France!

皆さん、ふるってご参加下さい。

Bonjour la France 2012年の企画第2回目です。

ゲストは、前にもにきていただいた、市民の会ではすっかりおなじみのシ rilル・ダルグランド (Cyril le Dalgrande) さんです。

「このたび、提携20周年記念の訪問団が4月17日に来西しますが、先乗りの形でシ rilルさんが西宮に来られるので、みなさんとの交流の場を設けました。フランス語と日本語チャンポンでの互いの近況報告やこれからの交流について自由に話し合ひましょう」

今回、ティータイム形式でいたしますので、お茶をご用意します。



開催日：4月14日(土)

時間：午後3時～午後4時30分

(注：今回時間が異なります。ご注意ください)

場所：フレンテ4F 国際交流協会会議室

会費；会員500円 非会員800円

(会員の紹介をうけた方に限ります)

※ 当日、お支払いください

【参加申込・問合せ】NLEG フランス語部まで、できるだけメールで：

bonjourlafrance@hotmail.co.jp まで

(非会員の方は、電話番号・紹介者の氏名もお願いします)

新入会員紹介

○田中 利江さん(愛知県津島市)

遠くに住んでいますので平素は活動に参加できませんが、当会に大いに関心を寄せています。そして秋のフランス旅行にはぜひ仲間に入れてほしいと願っています。

○大城 栄子さん(尼崎市武庫豊町)

お仕事をリタイアしたら、少しフランスに住みたいと思っています。フランス語サークルに入会を希望しています。どうぞよろしくお願ひします。

退会会員

○柿木 啓子さんが2月末で退会されました。

カランドリエ

(フランス語でカレンダーの意味)

「夏時間」

(藤枝 知子)

3月のフランスといえば…???

日本では3月と言えば、桃の節句で雛飾りの赤色・桃色・紫色・黄色と彩り華やかな春の幕開けの月です。同時に卒業シーズンで、新しい出会いを予感しながらのお別れの季節でもあり、多くの人生の節目となる大切な思い出に残る月です。

フランスでは、秋から多くの屋外施設（寒い地方の遊園地、ゴルフ場、城など）がクローズされ、冬の間は行動範囲は夏と比べてぐっと狭くなります。特に10月最終日曜日午前1時から冬時間に移行すると1時間時計の針が遅くなるというのに、冬の日照時間の短さが際立っていきます。

日本と違い真冬のフランスでは、朝は9時くらいから（夕方？）15時くらい迄はお日さまの光をぼんやりと感じますが、真っ暗な中、通勤通学および帰宅するのです。大人はまだいいのですが、幼稚園児が暗闇に近い中、幼稚園と家を往復する光景は、日本人には違和感があります。



この暗さを12月のノエルの温かで楽しげな飾りで、心を前向きにします。華やかな色遣いを伴うノエルと新年のごちそうで、家族愛を盛り上げた後1月も半ばを過ぎると、街のイルミネーションが徐々に片付けられていき、本当に暗く長い冬の夜を実感していきます。

それでも尚、ガレット・デ・ロワ（1月の行事。アーモンド生地のパイの中に陶器の人形を1つ入れて焼き上げてあり、皆でパイを取り分けて、人形が当たった人が王様になることができる遊び）やシャンドゥラー（2月の行事。クレープを食べます）と続く楽しく甘いイベントで、寒い1月2月をやり過ごします。

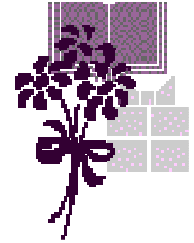
冬のバーゲンセールの子供の季節でもあるので、お買物するのもよい手かと思えます。

2月の冬休み（機会あれば、またいずれお話します）を楽しんだ後は、本来は2月のイベントであるカルナバル（カーニバル）を3月にずらして、ベニエ（カルナバルの時につまむ、独特な揚げパン）を食べて、何とか3月をしのぎます。

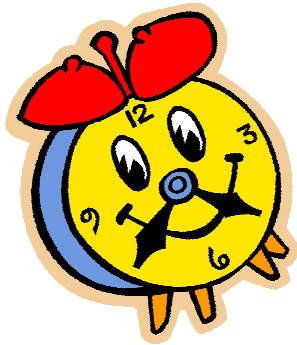
日本よりも、うんと気温の低いフランスで3月は「温かな春まで、本当にあと少し！」の我慢の月だと思います。4月であることが多い復活祭（パスク）の飾りを早めにみつくり、黄緑、黄、ピンクで部屋を春色に先取りしたりします。

また、3月には多くのフランス人が夏のバカンスの予定をほぼ決定させているので、春を飛び越して夏の話で盛り上がったりしてみたりもします。気の早い屋外施設もぼちぼち3月中旬あたりから再開され始め、まだ寒い中お出かけもスタートします。

そして、3月の最終日曜日午前1時になると、「夏時間」に移行します。



皆が待ちに待った瞬間です。当たり前のことですが、1時間時計の針が早く進むことにより、日没時間も一気に1時間長くなります。まだまだ寒いのですが、「あ～夏が近づいてきたなあ。」と自分の中に春の息吹を感じたように、わくわくします。気分もほんのりと温かくなるのです。



気持ちは嬉しい反面、夏時間に移行した直後の月曜日の朝～会社や学校が始まる週明けの朝～は、当然のことながら、1時間

早起し、1時間早く通勤通学しなければなりません。眠い目をこすり活動し始めると、この1時間の「時差」は意外に体にこたえているのがわかります。幼い子どもから大人まで、1週間ほど体のだるさを伴います。

そして、この「時差」に慣れた頃から、本格的に春の到来を実感するのです。

受賞おめでとうございます！



NLeG 会員：越智 強さんが、2月に行われたラ・イン展で、見事「兵庫県芸術文化協会賞」を受賞されました。（写真は受賞作「バス通り裏」F80号）

越智さん、おめでとうございます。

ラ・イン会は、昨年創立60周年を迎えた関西の日展系美術団体で、今、開催中の第43回日展にも10名の会員が出展するという伝統ある会です。

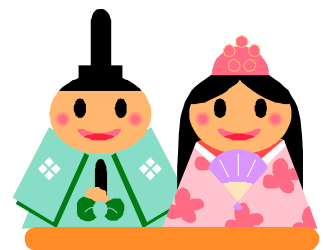
ベランジェールさんへのプレゼント

ベランジェールさんは、7年前？に市民の会でお世話をした留学生です。

当時は、勉強熱心な学生で、ボーイフレンドもいなかった彼女ですが、フランスに帰って結婚、女の子を出産されました。

そこで、市民の会からお祝いということで、このシーズンを待って、「ひな飾り」をプレゼントしました。かわいい感じのを2～3種類見繕って写真を送り、その中から、ベランちゃんに選んでもらいました。

3月3日に間に合って無事到着。とても喜んでいて、「皆さんに改めてお礼のメールを書く」と言っていました（^^）



（槇尾裕美子）

盛大だった国際交流デー



2月12日（日）の国際交流デーに、NL e Gも参加しました。
大変沢山の会員さんが販売協力に駆けつけてくださり、上々の売上げでした。

ワインはフランスワインに加え、今年は土屋さん特製のホットワインを完売しました。
谷口さんの焼きたてフランスパンは、3回にわたって納品された都度、数分で売り切れる
という盛況ぶり。また、川野さんの姪御さん手づくりケーキも昼に売り切れ、船坂産手作
りの「ゆずジャム」も昼過ぎに完売。恒例の森田商会さんのドライフルーツと絵画部作品
も大いに売れました。

お陰で売上総額約146,000円、収益
金約35,000円となり、収益金はNL e
G会計に収入し、今後の活動費として運用し
ていくことといたします。



(写真下)

西宮市長を囲んで、
記念撮影

(写真右側上下)

たくさんの人々が、NL e
Gコーナーを訪れました。



<編集後記> 3月号の編集は、牧 祐紀子でした。

事務局 : 〒662-0911 西宮市池田町11-1 フレンテ西宮4階 秘書国際課内
Tel:0798-35-3468 Fax:0798-32-8673
Home Page : <http://nleg.net> E-mail: info@nleg.net